

2010年2月17日

SAAJ NEWS RELEASE

IFRS（国際財務報告基準）についてのアンケート結果を公表

社団法人日本証券アナリスト協会（会長：稲野和利 野村アセットマネジメント会長）は、2010年1月に実施したIFRS（国際財務報告基準）についてのアンケート結果を公表しました。当アンケート調査は、IFRS対応会議・広報委員会の依頼で実施したものです。

【アンケート結果のポイント】

- ✓ 調査対象は、協会員の中でも財務諸表の利用頻度が高い企業会計研究会、ディスクロージャー研究会、同研究会の業種別専門部会の委員132名。71名から回答があり、回収率は53.8%であった。なお、回答者の33.6%は投資実務経験が20年以上、35.2%は15年～20年とベテランのアナリスト、ファンドマネジャーなどが大半である。
- ✓ 「IFRSを知っていますか」という質問に対して、個別の基準を含め、詳細を理解している回答者が2.8%、ある程度理解しているが49.3%と、過半数が個別の基準まで理解している。凡そどのようなものかは知っているの35.2%を含め、合計87.3%がIFRSの内容を理解している。
- ✓ 「IFRS導入に向けて気になることは何ですか」という質問に対しても、「IFRSとJ-GAAP（日本基準）の相違」がとても気になるが83.1%、「企業経営や企業業績への影響」がとても気になるが83.1%、「開示制度との関係」がとても気になるが76.1%と高かった。コンバージェンスが進んでいるが、IFRSと日本基準の相違を気にする回答者が多かった。また、IFRSの導入に伴う企業経営の変化、企業業績への影響、開示制度の変更などへの関心が高い。
- ✓ 「IFRS自体についてどのような点を知りたいですか」という質問に対しては、「IFRSを適用した場合の日本企業への影響」を是非知りたいが87.3%、「IFRSとJ-GAAP（日本基準）との主な相違」をぜひ知りたいが83.1%であった。アナリスト、ファンドマネジャーは、業績予想や企業分析に直結した情報を欲している。

【添付資料】 IFRS(国際財務報告基準)についてのアンケート結果

本件に関するお問い合わせは下記まで

社団法人日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1577

担当：教育第一企画部長 かいます 貝増 眞